

令和5年度千葉市大学市長賞 受賞者一覧

大学・短期大学名 (学部・学科)	ふりがな 受賞者氏名	推薦理由概要
<p>植草学園大学 発達教育学部 発達支援教育学科</p>	<p>たかいし すみか 高石 純花</p>	<p>障害者施設やこどもカフェへのボランティア活動に参加。卒業後に市内保育所に就職するが、就職後の活動に生かすため、手話講習会（中級コース）を受講した。 学業においては、大学における在校生スカラシップ学生として推薦歴があり、在籍時において優秀な成績を修めている。 また、何事にも積極的に取り組み、卒業論文ではインタビューやアンケートを通じて多角的な分析を試み、自分なりの答えや考え方を見つめられるように取り組んだ。</p>
<p>神田外語大学 外国語学部 アジア言語学科</p>	<p>しおざわ まな 塩澤 麻奈</p>	<p>商学連携プロジェクトとして、スイーツミズノヤとのコラボ商品「シナモンコーヒータースト」を提案し、ベトナム産シナモンを使用した同商品の開発・販売に貢献した。 学業では、ベトナム語スピーチコンテストに出場。キャンパスアドバイザーとして高校生に大学案内や、ボランティアに参加する等し学内外で貢献した。 また、学園祭では、研究演習及びサークルの学園祭担当として活動し、発表や出展に重要な役割を果たした。</p>
<p>敬愛大学 国際学部 国際学科</p>	<p>こえた あやの 小枝 亜耶乃</p>	<p>東京パラリンピックの「車いすフェンシング競技」のボランティアに参加。他大学学生と日本ソフトパラフェンシング協会を設立し、理事として活動を広めていく役割を担い、大学の枠を超えた取り組みで活躍した。 学業では、顕著な少子化状態にある台湾の大学生にアンケート調査を行い、比較の視点で「人口減少問題—人口減少を食い止める方法に関する分析—」を執筆した。 また、何事にも探求心をもって真摯に取り組み、課外活動においても意欲と実践を踏まえ、リーダーシップを発揮した。</p>
<p>淑徳大学 看護栄養学部 栄養学科</p>	<p>もりかわ あや 森川 彩</p>	<p>卒業研究では、「働く世代におけるスマートミールの認知とレシピ開発」というテーマで千葉市内の企業と協力しながら健康を意識した弁当を開発し、企業での販売、従業員へのアンケートを実施し地域の健康づくりに貢献した。 学業では、常に学年トップクラスの優秀な成績を修めた。 また、礼儀正しく真面目な生徒であり、授業や臨地実習、国家資格（管理栄養士）の取得に向けて勉学に励んだ。</p>
<p>千葉大学 工学部 総合工学科</p>	<p>かわかみ さえ 川上 彩笑</p>	<p>千葉市動物公園と共同で動物の生態からSDGsを考える新しい動物公園の参加型ワークショップを開催した。また、新動物アイコンを著作権として動物公園に譲渡し、動物公園の様々な活動に活用することに貢献した。 卒業研究では、千葉市動物公園の研究者との意見交換を交えながら来園者が参加したくなるような動物の見方をデザイン視点で考案している。 また、千葉大学サークル「地域子ども研究会あらぐさ」活動では千葉市小学生に世代を超えた交流、遊びを通じた学びの場を提供する等の活動を行った。</p>
<p>千葉経済大学 経済学部 経営学科</p>	<p>みやざき まやか 宮崎 真弥香</p>	<p>「ちばアントレプレナーシップ教育コンソーシアム Seedlings of Chiba」が実施した「CHIBA-ZOOTUBEプロジェクト」に参加し、大学生スタッフのリーダーを務めるとともに、参加した子ども達が千葉市動物公園の魅力PR動画をうまく作成できるようサポートし、千葉市動物公園から活動実績が高く評価された。 学業では、3年次及び4年次の2度特待生に選ばれた優秀な学生である。また、学友会執行部役員や大学祭実行委員副委員長を務めた。</p>

<p>東京情報大学 総合情報学部 総合情報学科</p>	<p>やぶき りょうすけ 矢吹 涼介</p>	<p>千葉市加曽利貝塚「縄文秋まつり」及び若葉区民まつり、千葉県東警察署の特殊詐欺防止映像「ストップ！電話de詐欺」といった事業に様々な支援を行った。特に、<u>本学生らが演じた本校ローカルヒーロー「ワカバマン」を出演させた作品を通して、千葉市民の老若男女問わず広く親しみを与えながら、地域情報のPRや特殊詐欺防止の注意喚起をはかり、千葉市のまちづくりに貢献した。</u> 学生生活では、勉学、学校生活ともに常に真面目に取り組み、他の学生の模範となるような姿勢を見せていた。 また、礼儀正しく、千葉市のイベント等では、「ワカバマン」の芝居を通して、特に幼少の子供達にも丁寧に接し親しみを与えた。</p>
<p>植草学園短期大学 こども未来学科</p>	<p>きたむら さくら 北村 桜</p>	<p>ピオトープ祭りに参加し、若葉区近隣のこどもたちと森を中心とした遊びや散策活動を展開した。<u>子育て支援センター「こいっくおぐ」に参加し、若葉区在住の乳幼児の親支援を行った。</u> 学業では、成績は上位に入るとともに、卒業研究では1年次から保育所・幼稚園・特別支援学校で実践した「手遊び」の有効性についてまとめた。 また、学業への取り組みだけでなく、学友会の役員やゼミのリーダーとして、常に周りの学生の模範として取り組んだ。</p>
<p>千葉経済大学短期大学部 こども学科</p>	<p>たかはし ももな 高橋 桃菜</p>	<p>ダンスサークルに所属し、「千葉公園秋まつり」や「にじいろ Fan Fan Market」において、<u>ダンスパフォーマンスを披露し、企画を盛り上げる役割を担った。</u>元気でさわやかな様子は、千葉市民のみならず多くの方々に楽しいひと時を届けた。 学業では、向学心に富み、優れた学習成績を修めた。入学時の特待生にも選出されており、その後も所属学科において上位の学業成績をおさめている。 また、他の学生の模範となる品位ある学生生活を送り、これからも市の発展に多大な貢献のできる人物である。</p>
<p>千葉明德短期大学 保育創造学科</p>	<p>いしだ まゆ 石田 真結</p>	<p><u>市内の子育てステーション「ニッセ」の活動にボランティアとして積極的に参加し、地域の子育て環境に大いに貢献した。</u> 学業では優秀な成績をおさめている。一方で、音楽サークルやゼミナールの表現活動においても、ムードメーカーとして活躍している。 また、学校広報紙制作の委員会に入ったりするなど、学校のために力を注いだ。</p>
<p>帝京平成大学 健康医療スポーツ学部 医療スポーツ学科</p>	<p>ひおき りこ 日置 理子</p>	<p>「東京2020 パラリンピック競技大会車いすフェンシング競技」にボランティア参加。「パラスポーツフェスタちば」や「千葉市オープンポッチャ大会」では、第1回から学生審判員として参加した。東京2020大会のレガシーとして、<u>千葉市から誕生したソフトパラフェンシングの日本協会学生理事として、普及活動に取り組んでいる。</u> 学業では、4年間の通算成績が学年1位であり、常に他の学生の模範となっている。 また、千葉市のパラスポーツ等を支援する「<u>帝京平成パラスポーツサポート部</u>」の初代代表やオープンキャンパスに参加して、学生のリーダー役として活躍した。</p>
<p>千葉工業大学 創造工学部 デザイン科学科</p>	<p>はぎわら あかり 萩原 朱莉</p>	<p>公共交通としてのバスと地域との関わりを調査し、<u>千葉市のモビリティマネジメントに対する新たな視点によるバス停のデザインコンセプト提案、及び次年度のモビリティマネジメント教育に向けた基礎情報としてモデル小学校の教員に対するプレゼン動画の共有を行った。</u> 学業では、大学における通算成績は、学科で上位5%以内という非常に優秀な成績を残している。 また、千葉聾学校の学生に対する聴覚バリアフリーの調査インタビューの責任者を務め、障害を持つ児童生徒に対して年長の大学生として真摯な態度で接し、良い関係を築くことができた。他者への思いやりを持ち、信頼できる学生であると考えている。</p>

<p>千葉敬愛 短期大学 現代子ども学科</p>	<p>むらかみ やまと 村上 大和</p>	<p>「ちば産学官プラットフォーム」の学生リーダーとして、大賀ハスマつりに参加。参加者のイラスト作品を使った「モザイクアート(JR千葉駅構内展示)」は千葉日報新聞に掲載され、大賀ハス70周年のPRに多大な貢献を果たした。</p> <p>学業では、特待生として入学し、成績は学年の中で常に上位であった。美術部部长として活躍し、製作した作品が第40回新春佐倉美術展(絵画部門・工芸部門)に入選した。</p> <p>また、クラス内の委員会活動では体育委員をつとめ、大学の各種イベントにも積極的に参加し、まわりの学生の模範となった。</p>
----------------------------------	---------------------------	--